



寒さが日に日に厳しくなり、あっという間に今年も残りわずかとなりました。寒々とした木々を見ると、本格的な冬の訪れを感じますね。

今年は季節関係なく、手足口病、アデノウィルス感染症、RSウイルス感染症、感染性胃腸炎が猛威を奮いました。そして11月に入るとインフルエンザが大流行し、現在も学級閉鎖、学年閉鎖が続いている。ご家族で罹患した方も少なくないようです。

これからクリスマスなど様々なイベントが続き、外出する機会が多くなる季節になりますが、外から帰つたら、手洗い・うがい・手指消毒を励行し、元気に年末年始を迎えてください。

来年も皆さまが安心してご利用いただける保育室を心がけ、保育を行って参りますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。



冬に流行する主な感染症の受け入れ判断基準について

インフルエンザ

発症後5日を経過し、かつ解熱後3日を経過

※ご家族の中にインフルエンザの方があり、みなもしくインフルエンザと診断された場合も同様

新型コロナウィルス感染症

発症日を0日とし、5日間かつ症状軽快から24時間経過

※ご家族の方が新型コロナウィルス感染症に感染している場合、お子さんの感染も否定できないため、抗原検査等を受け、陰性の場合のみ預かり可能

溶連菌感染症

有効な抗生素の内服開始後、24時間経過

RSウイルス感染症 マイコプラズマ肺炎

解熱後24時間が経過し、病状が回復傾向

感染性胃腸炎

嘔吐が治まり水分補給が可能

感染症の検査は必須ではありませんが、普段通われている、「小学校」「幼稚園」「保育園」等で流行している場合、またはご家族の中に罹患している方がいる場合は検査をお勧めしています。受診先の医師へご相談ください。

その他の感染症につきましてはホームページに詳しく掲載しておりますので、是非ご覧ください。同室のお子さんもいらっしゃいますので、ご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。



保育室の様子 食事編

当保育室の昼食は、お子さまの月齢や体調、アレルギーの有無に配慮して、病院内の辛酉会食堂に作っていただいている。乳児食・幼児食・児童食があり、乳児食は「五分がゆ」・「七分がゆ」・「十倍がゆ」などお子さまに合わせて様々な形態に対応可能です。幼児食・児童食の主食も「ごはん」と「うどん」から選ぶことが出来ます。入室の際に、お家の食事の様子や現在の食欲・食べることが出来ない食材等を詳しくお聞きし注文をしています。今回は、昼食のメニューの一例を紹介いたします。



- ・うどん・カレイの煮つけ・人参煮
- ・大根煮・プロッコリーの柔らか煮
- ・かぼちゃ煮・豆腐の柔らか煮・バナナ



- ・ごはん・味噌汁・カレイの煮つけ・人参煮
- ・プロッコリーの柔らか煮・かぼちゃ煮
- ・豆腐の柔らか煮・さつまいも煮・バナナ

おかずの大きさもペースト・きざみ・1cm角・一口大など一人一人の体調に合わせて対応しています。



確定後の申し込み内容変更について

ご利用確定後に入室時間その他変更がある場合はメールまたは朝の場合は8:00以降にお電話でお知らせください。

持ち物について

紙おむつ・おしり拭き・おむつ交換用タオル・スタイ(よだれが多い場合)・着替え(調節しやすい長Tなど)・お子様が安心するもの(タオル・人形など何でも構いません)小学生のお子様は本・勉強道具等をご持参いただいても構いません。ゲーム・タブレット等は管理・故障等の問題もございますので、なるべくお持ちにならないようお願いいたします。



利用料金について

利用料金は利用時間によって異なります。お帰りの際にお支払いとなりますが、保育室ではお釣りの準備がございませんので、お釣りのないようお願いいたします。料金につきましてはホームページにてご確認ください。



連絡用メールアドレスについて

ご予約された際、ご登録のメールアドレスに星の子ルームよりご連絡を差し上げる場合がございますので、ご確認をお願いいたします。他のメールアドレスにご連絡をご希望する場合は、ご予約の際の「病児保育室に伝えたいこと」の欄にご希望のメールアドレスをご入力いただけますようお願いいたします。

お問い合わせ 022-717-7819 メールアドレス hos-byoji@grp.tohoku.ac.jp

ホームページ <http://www.hosp.tohoku.ac.jp/hoshinoko-room.html>

